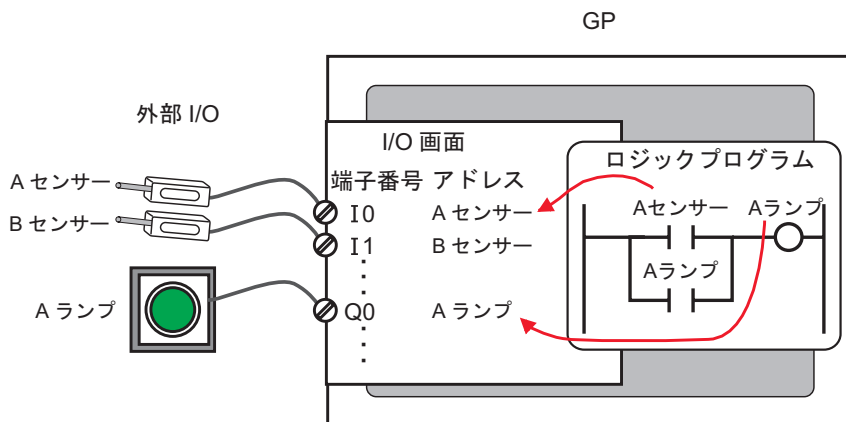


30.3 GP で外部 I/O を制御したい

30.3.1 詳細

GP で外部 IO を制御するには、GP 内蔵の DIO ドライバを使用します。

入力 6 点、出力 2 点で構成されています。



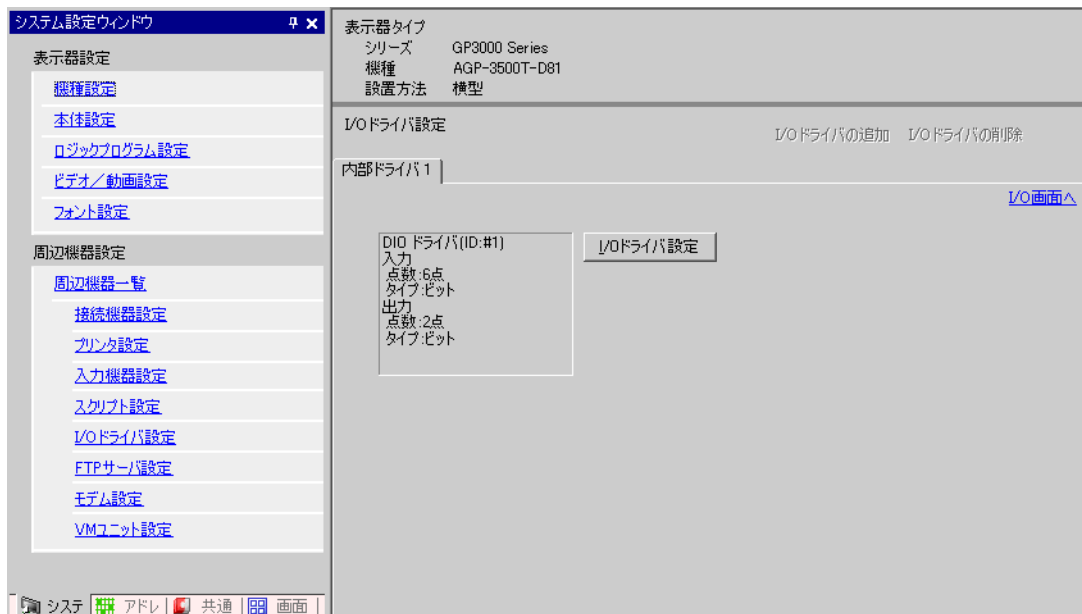
30.3.2 設定手順

MEMO

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

☞ 「30.3.3 [I/O ドライバ設定] の設定ガイド」 (30-12 ページ)

- 1 機種設定で AGP-XXXXX-D81 を選択します。自動的に DIO ドライバが設定されます。
- 2 [システム設定ウィンドウ] から [I/O ドライバ設定] を選択すると、次の画面が表示されます。



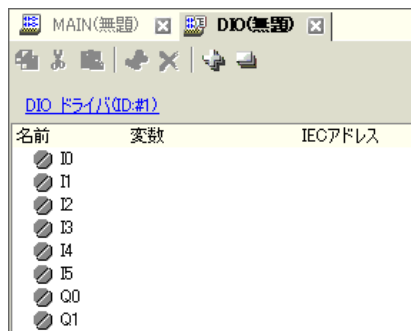
MEMO

- ・ ワークスペースに [システム設定ウィンドウ] タブが表示されていない場合は、[表示 (V)] メニューから [ワークスペース (W)] を選択し、[システム設定ウィンドウ (S)] を選択します。

- 3 [I/O ドライバ設定] をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。入力、出力のアドレスタイプを設定し、[OK] をクリックします。



4 [I/O 画面へ] をクリックして I/O 画面に移行します。

**MEMO**

- ワークスペースの [画面一覧] ウィンドウから I/O 画面を表示することもできます。

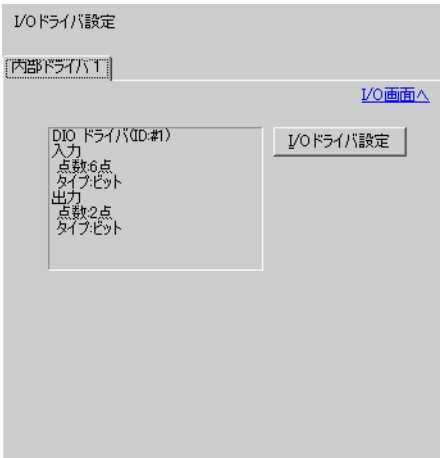
5 各端子にアドレス（変数）を割り付けます。割り付け方法については以下を参照してください。

☞ 「30.1.2 設定した各 I/O 端子にアドレス（変数）を割り付ける方法」（30-3 ページ）

30.3.3 [I/O ドライバ設定] の設定ガイド

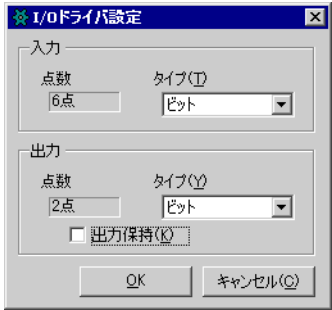
DIO ドライバ

表示器の機種が「AGP-XXXXX-D81」の場合に、システム設定ウィンドウの [I/O ドライバ設定] を選択すると表示される画面です。



設定項目	設定内容
I/O ドライバ設定	クリックすると、[I/O ドライバ設定] ダイアログボックスが表示されます。
I/O 画面へ	クリックすると、I/O 画面に切り替わります。

◆ I/O ドライバ設定



設定項目	設定内容
入力	入力の変数タイプを[ビット]または[整数]から選択します。 点数は6点（固定）です。
出力	出力の変数タイプを[ビット]または[整数]から選択します。 点数は2点（固定）です。
出力保持	ロジック停止時に出力を保持するかどうかを設定します。チェックを入れると、GPが停止状態になってもI/Oのデータ値を保持したままにすることができます。